



平成21年2月6日

各位

会社名 信金中央金庫  
代表者名 理事長 中平 幸典  
(コード番号 8421 東証 優先出資証券)  
問合せ先 理事総合企画部長 柴田 弘之  
(TEL.03-5202-7624)

平成21年3月期 通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

本中金は、平成21年3月期通期の業績予想(平成20年11月20日公表)および平成21年3月期の配当予想(平成20年5月22日公表)につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成21年3月期通期の業績予想の修正(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

##### (1) 連結 (単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	477,000	20,000	12,000
今回修正予想(B)	490,000	19,000	37,000
増減額(B)-(A)	13,000	39,000	49,000
増減率	2.7%	-	-
(参考)20年3月期通期実績	445,864	53,829	38,727

##### (2) 単体 (単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	452,000	16,000	11,000
今回修正予想(B)	465,000	23,000	38,000
増減額(B)-(A)	13,000	39,000	49,000
増減率	2.8%	-	-
(参考)20年3月期通期実績	421,717	48,947	34,830

##### (3) 修正の主な理由

米国発の世界的な金融危機を受けて、内外株式市場をはじめとする金融証券市場が激動を続けるなかで、保有有価証券について多額の減損処理を行った結果、今年度第3四半期業績が純損失となりましたことから、通期においても370億円程度(連結)の純損失が見込まれるため、通期の業績予想を修正するものです。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

#### 普通出資

	1口当たり年間配当金
基準日	期末
前回予想(平成20年5月22日公表)	4,000円00銭
<b>今回修正予想</b>	<b>0円00銭</b>
当期実績	
前期(平成20年3月期)実績	4,000円00銭

#### 優先出資

	1口当たり年間配当金
基準日	期末
前回予想(平成20年5月22日公表)	13,000円00銭
<b>今回修正予想</b>	<b>0円00銭</b>
当期実績	
前期(平成20年3月期)実績	13,000円00銭

### (2) 修正の理由

今回の通期業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、平成21年3月期の配当予想を無配に修正させていただきたいと存じます。

## 3. 役員報酬の減額について

今回の通期業績予想および配当予想の修正を踏まえ、平成21年2月から平成22年3月までの間、常勤役員の役員報酬を20%減額することといたしました。

## 4. 自己資本の増強について

本中金は、財務基盤の強化を図るとの観点から、平成20年11月20日開催の理事会決議を受けて、信用金庫業界から総額2,000億円規模の中核的自己資本を調達するため、その具体的内容について検討してきており、本年6月末を目処とした実施に向けて準備を進めてまいります。

以上

本件に関するお問合せ先

信金中央金庫 広報室 (岸川、市川、荻野) TEL.03-5202-7700
--

(ご参考)

昨年9月のリーマン社の破綻を契機とする米国発の世界的な金融証券市場の混乱の影響により、CDOなどの証券化商品市場が事実上機能不全となったことに加え、世界同時株安、信用スプレッドの急拡大によるクレジットマーケットの混乱など、金融経済環境は大幅に悪化しており、未だ回復の兆しは見えないところであります。

かかる環境下、本中金の収益状況は、各国当局による大幅な協調利下げの効果などにより、利鞘は拡大傾向にあるものの、保有する一部の証券化商品、およびリーマン関連の債券等で多額の減損処理が発生したほか、昨年10～12月の国内外株式市場の急落により、株式・投資信託についても、多額の減損処理を余儀なくされました。

これらにより、本中金では、今年度第3四半期末までに、累計1,031億円<sup>(注)</sup>にのぼる減損処理を行いましたほか、繰延税金資産の一部取り崩しもあり、連結経常利益は196億円(前年同期比560億円)、連結純利益は404億円(同654億円)の大幅な赤字決算となりました。なお、連結ベースの自己資本比率については、12.29%と十分な健全性を維持する水準となっております。

また、本中金では、今年度第3四半期業績を踏まえるとともに、昨今の金融環境を勘案し、平成20年度通期の業績予想についても、連結経常利益190億円(同728億円)、連結純利益370億円(同757億円)の赤字に下方修正することといたしました。

今回の業績予想の修正に伴い、普通出資および優先出資の配当については、誠に遺憾ではありますが、無配となる見込みです。

なお、本中金は、財務基盤の強化を図るとの観点から、平成20年11月20日開催の理事会決議を受けて、信用金庫業界から総額2,000億円規模の中核的自己資本を調達するため、その具体的内容について検討してきており、本年6月末を目処とした実施に向けて準備を進めてまいります。

(注) 累計減損額1,031億円の内訳は、上半期に、外国証券363億円(うち海外証券化商品273億円)、第3四半期に、株式220億円、投資信託232億円、外国証券216億円(うち海外証券化商品63億円)となっております。